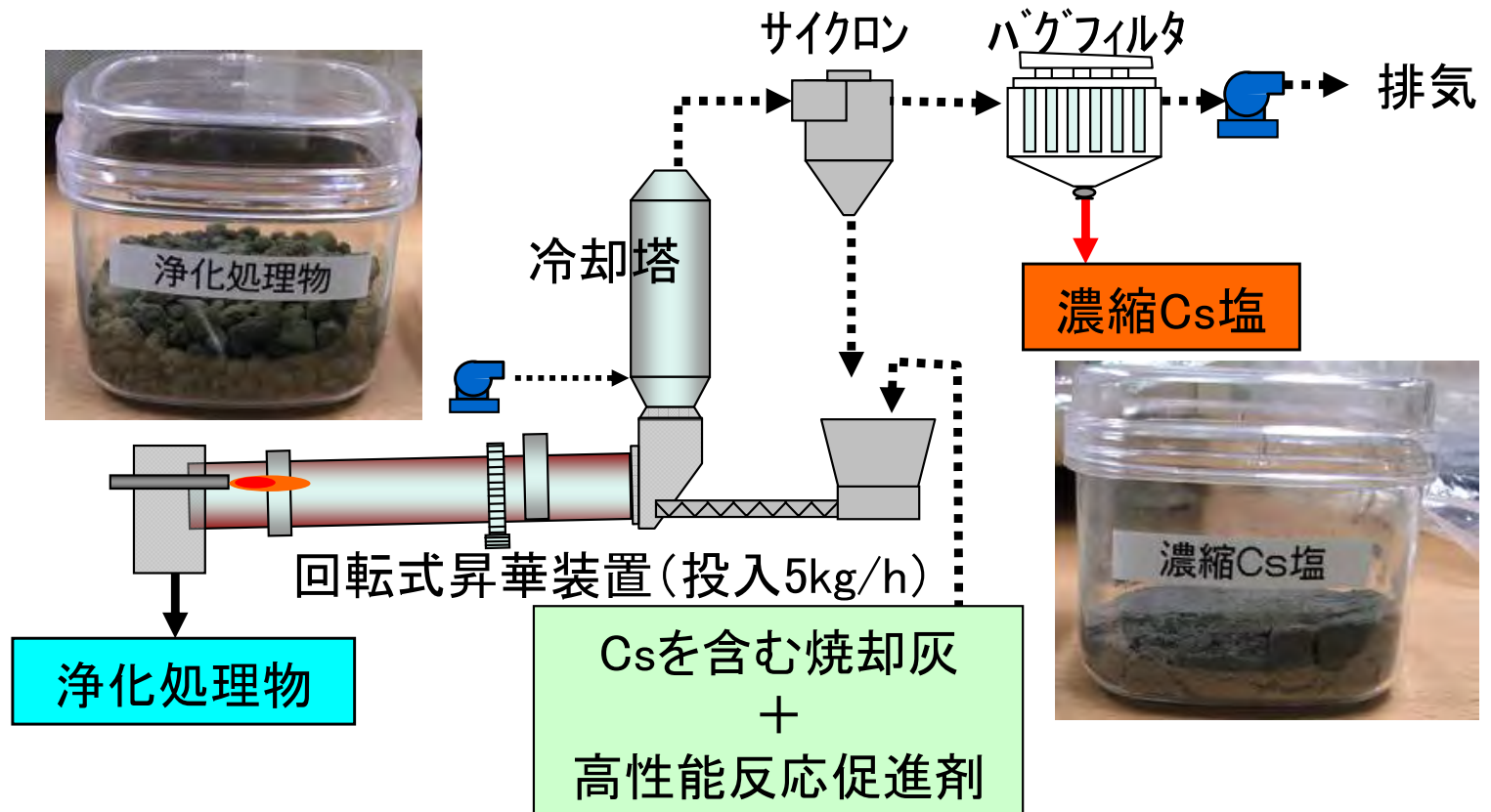


# 下水道における放射性物質対策

## (回転式昇華装置を用いたセシウム(Cs)除去対策)

### 実証実験結果

国交省からの受託により  
日揮・日本下水道事業団共同提案体で実施



焼却灰(5万Bq/kg)と高性能反応促進剤を混合後、回転式昇華装置で1300°C前後に加熱し、濃縮Cs塩等を分離回収した。

焼却灰中のCsを99.95%以上を分離し、浄化処理物のCs放射能濃度は検出限界(<25Bq/kg)以下となった。

分離回収した濃縮Cs塩の放射能濃度は35~49万Bq/kgとなり、保管・処分量の大幅な減容化ができた。

排気中のCs濃度は検出下限値(2Bq/m<sup>3</sup>)以下であった。